

音楽 6年生

♪ 課題 ♪

♪表紙裏の「辻井伸行さんのことば」を読もう。

♪教科書8～11ページの「おぼろ月夜」を大きな写真を見ながら聴こう。

(ユーチューブから出してね。)

「おぼろ月」って、どんな月だと思いますか？

かすみ（霧のようなもの）などがかかっている、「ポーッ」と見える月のことです。

歌詞が文語体というもので、少し難しいですが、楽譜の下にある訳を見ながら考えてみよう。

だいたいの意味は

1番・・菜の花畑に 弱い夕日の光がかかっています

見渡すと、山のはしに かすみ が深くかかっています

春風がそよそよとふくので、空を見上げると

夕方の月が空に出ていて、あたりがうっすらとしています

2番・・村のあたりの明かりも森の色も

田んぼのこみちを歩いている人も

かえるの鳴く声も 鐘の音も

全て かすんでいるよ (かすんで見えるよ 聞こえるよ)

(おぼろ月が出ている夜だから)

こんな意味だよ

・八、六で続く言葉のリズムを感じながら、歌詞を読んでみよう。

・歌詞がわかったところで、覚えて歌ってみよう。

・どこがいちばん盛り上がるかな？

どのように歌ったらよいか、工夫して歌ってみよう。

・教科書11ページの「せんりつ(メロディーのこと)のもつリズムや流れを感じ取ろう」
を読んで、リズムを段ごとに比べてみよう。

手でリズムを打ちながら、歌ってみよう。同じリズムがあるかな？

♪中島美嘉が歌っている「おぼろ月夜～祈り」をぜひ、聴いてみてください。

(ユーチューブから出して)

現代版「おぼろ月夜」という感じで、すてきな感じですよ。途中から、「祈り」という歌に変わってしまいましたが・・・先生大好きな編曲です。

♪リコーダーも引き続き、練習してね。「威風堂々」や「喜びのうた」以外にも好きな曲を練習してもいいですよ。

♪上の課題を何回もくり返して、練習してくださいね。

